

佐藤国際交流賞

佐藤国際交流賞は、佐藤昌氏が社団法人日本公園緑地協会会長、名誉会長として長年に亘り我が国の公園緑地行政の発展並びに海外諸国との専門的交流や東洋、欧米諸国の公園緑地制度等に関する数々の優れた研究著述を通じ、造園分野における我が国の国際的地位の確立に大きな貢献をされたことを記念し、平成4年に設けられました。この賞は、公園緑地分野において「国際的な交流の推進に功績」があった方に贈呈するものです。

第34回佐藤国際交流賞受賞者（敬称略・五十音順）

てらした ひろむ

寺下 弘

現 株式会社近江庭園取締役会長

受賞理由

氏は、高度な技術と豊富な経験を活かし、平成29年度～令和3年度に国土交通省が外務省や地方自治体と連携して実施した「海外日本庭園再生プロジェクト」における米国(カリフォルニア、ミシガン他)での庭園修復や、大津市の姉妹・友好都市(スイス、ドイツ他)での日本庭園作庭等を行い、世界各国で日本庭園や日本の造園技術の普及と国際交流に大きく貢献している。

また、参加各国における職業訓練の振興と青年技能者の国際交流、親善を図ることを目的として実施されている、技能五輪国際大会にて、2007年から2024年の大会まで、18年にわたり日本代表選手の指導員を務めている。2007年に部門で初めての金メダルを獲得して以来、銀賞2回、敢闘賞3回の輝かしい成果を収めている。また、前述の「海外日本庭園再生プロジェクト」においても、国内の若手技術者を引率しながら日本庭園の修復を先導しており、日本の造園技術の継承と、国外で活躍する若手の育成に貢献している。

みやぎ しゅんさく

宮城 俊作

元 東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻教授

設計組織プレイスメディアパートナー

現 設計組織プレイスメディアファウンディングフェロー

Harvard University Graduate School of Design Visting Professor

受賞理由

氏は、国際的な教育・研究活動において、米国ハーバード大学デザイン大学院（GSD）の客員教授としてデザインスタジオのインストラクターを務めているが、日本固有の感性と論理に基づく指導は、世界トップレベルの次世代ランドスケープアーキテクトの育成に多大な貢献を果たしている。また、デザイナーとしての実務面においては、国内外の著名建築家との協働を通じて多数の国際プロジェクトに参画し、国境を越えたその卓越した成果は、海外のデザイン界から高く評価されると共に、日本のランドスケープアーキテクトの地位向上に大きく寄与した。さらに、社会的な啓発活動においては、著書『世界のランドスケープデザイン』（1991年）等を通じて海外の潮流を先駆的に日本へ紹介するとともに、日本の空間言語や美学を英語圏へ向けて論理的に発信し続けるなど、著作活動を通じた双方向の知的・文化的交流において主導的な役割を担っている。

（役職は、令和8年3月31日現在）